

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	農畜産物ブランド化推進事業			事業番号	23-104
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	経済環境部農地利用担当	萱場 哲	農業振興課	熊澤 信一	

計 画 (Plan)

総合計画体系	活力	まちづくり目標	3	個性豊かで活力あるまち	
		基本政策	6	産業の活力があふれる元気なまちづくり	
		施策展開の方向	10	地域の産業が盛んなまちをつくる	
		施策	23	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	
予算事業名	農産物ブランド化推進事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→		法令上の位置づけ	できる規定がある	
事業開始年度	開始年度	平成30年度以前	～	終了年度	
関連法令等	地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律(六次産業化法)				
国・県の計画等	①かながわ農業活性化指針②神奈川果樹農業振興計画		計画期間	②平成24年度～令和7年度	
関連個別計画			計画期間		
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	農畜産物に関しては、地産地消で安全安心な生産者の顔が見えるなど、高付加価値を付けた農畜産物の消費拡大が起っており、地元の直売所などでの販売物が売れています。農業者から本市の農畜産物を販売する戦略の充実が求められています。更に酪農業が県内有数でありそれらもアピールしていく場の提供などが求められています。				
目的 (何をどうしたいのか)	地域の農業振興を図りながら農商工連携した6次産業化や新たな特産品開発に向けた調査・研究を進めるとともに、農畜産物(ブランド品)の販路拡大に向けた情報発信を行います。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市内の農業者等及び販売事業者				
事業内容 (手段、手法など)	・農畜産物等の食品に関し伊勢原のブランド品として選定するとともに、さらに高付加価値を付けた農畜産物を調査研究していきます。 ・農畜産物を販売・情報発信できる環境を整備し、ブランド品など農畜産物の販売を強化し、農業所得の向上につながる支援を図ります。				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	新たな商品選定制度	選定審査(制度運用)	選定審査(制度運用)	選定審査(制度運用)	
	販路拡大等の調査・支援	イベント出店	イベント出店 ECサイト作成	支援策ブラッシュアップ	
	(仮称)プレミアムブランド品の選定	調査・研究	調査・研究	認定制度確立	
6次産業化等の調査・研究	調査・研究	調査・研究	新商品開発		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	いせはらブランド選定数	35品目 (平成29年度)	35品目	38品目	40品目



事業実施 (Do)

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	「日本遺産のまち伊勢原うまいものセレクト」の認知度向上を図るため、庁内外の関係機関(者)との連携強化を図りながら、効果的な販売促進とPR活動に取り組みます。 また、多様な販売促進活動や農畜産物の付加価値向上により事業者の所得向上を図り、事業の自走化を促します。				
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施		<input checked="" type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b>		
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		<b>補助先</b>		伊勢原市地域特産物研究会
	<input type="checkbox"/> その他		<b>具体的内容</b>		
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>		<b>年度</b>		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	新たな商品選定制度		新たな認定制度の創設	制度運用	
	販路拡大等の調査・支援		調査・研究	イベント出店支援	
	(仮称)プレミアムブランド品の選定		調査・研究	整理・統合	
6次産業化等の調査・研究		調査・研究	調査・研究		
<b>実施した取組の内容</b>	地域ブランド「日本遺産のまち伊勢原うまいものセレクト」認定品PRのためのイベント販売を市内外で実施するとともに、新たな商品の認定に取り組みました。さらに、認定農畜産物の付加価値向上を図るため、商品パッケージの改良支援を実施しました。				
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>		<b>年度</b>		
	<b>【現状値】</b>		平成30年度	令和元年度	令和2年度
いせはらブランド選定数		35品目 (平成29年度)	74品目	82品目	

<b>コスト</b>	<b>年度</b>		<b>平成30年度 実績</b>				<b>令和元年度 実績</b>				<b>令和2年度 実績</b>				
	<b>事業費合計 (a)</b>		2,000		千円	300		千円	0		千円	0		千円	
	<b>内訳</b>	国県支出金 ①		0		千円	0		千円	0		千円	0		千円
		地方債 ②		0		千円	0		千円	0		千円	0		千円
		その他特財 ③		2,000		千円	30		千円	0		千円	0		千円
		一般財源 (a)-①-②-③		0		千円	270		千円	0		千円	0		千円
	<b>国県支出金の内容</b>														
	<b>その他特財の内容</b>	<b>受益者負担</b>		<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無				<b>前回の改定時期</b>							
		<b>その他</b>													
	<b>人件費</b>	<b>正規職員</b>		0.07	人	596	千円	0.07	人	609	千円	0	人	0	千円
		<b>その他の職員</b>		0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
		<b>人件費合計 (b)</b>		0.07	人	596	千円	0.07	人	609	千円	0	人	0	千円
	<b>トータルコスト (a)+(b)</b>				2,596	千円			909	千円			0	千円	
	<b>単位当たりコスト</b>	<b>対象数</b>	<b>定義</b>	市民		単位	市民		単位	市民		単位	市民		単位
			<b>対象数</b>	102416		人	102,248		人	102,248		人	102,248		人
<b>総事業費 / 対象数</b>		25		円	9		円	9		円	9		円		

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	地域ブランドPRのためのイベント出店や、農畜産物の商品パッケージデザインの改良支援を実施するなど、新型コロナウイルスの影響により一部の販売促進事業が中止となったものの、概ね計画どおり進捗したと考えます。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	近隣自治体等においても農産物のブランド化の取組が行われていますが、地域資源等が異なることから、実施水準を一律に比較することは困難です。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	農業者の所得増加と本市農業の活性化を図る上で、市内農畜産物等のブランド化を推進する本事業は、有効な取組であるとを考えます。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	地域ブランド「日本遺産のまち伊勢原うまいものセレクト」を継続的に推進するため、庁内外の関係機関との連携を強化するとともに、事業者の主体的な参加を促し、効率的に事業を推進しています。

↓  
取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	農業所得の向上等を図るため、地域ブランド「日本遺産のまち伊勢原うまいものセレクト」を効果的にPRするとともに、農畜産物の付加価値向上に向け取り組む必要があります。
令和2年度の取組方針		社会環境の変化等に適切に対応しながら、地域ブランド「日本遺産のまち伊勢原うまいものセレクト」のPRを推進し、本市の農畜産物をはじめとする認定品の効果的な販売促進に取り組めます。また、農畜産物の付加価値向上を図るため、農畜産物及び加工品のパッケージデザイン改良等のための支援に取り組めます。		
所管部長による総評		本事業では、地域ブランド「日本遺産のまち伊勢原うまいものセレクト」認定農畜産物等の計画的な販売促進活動と付加価値向上に取り組む、農畜産物のブランド化を推進してきました。今後は、他産業とも連携しながら農畜産物の更なるブランド化を推進し、本市農業の活性化と農業所得の向上を図る必要があります。		